

2007年1月25日

各 位

会社名 東洋紡績株式会社  
代表者名 取締役社長 坂元 龍三  
(コード番号3101 東証、大証、各第1部)  
お問い合わせ先 総務部長 矢野 邦男  
(TEL.06-6348-3221)

## 米国における「ザイロン®」繊維を用いた防弾ベストに関する 損害賠償請求の和解について

当社は、このほど、防弾ベストの使用者から米国カリフォルニア州ロサンゼルス郡上級第一審裁判所に提訴されていた2件の損害賠償請求訴訟において、それぞれ原告と和解しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. Victor Alvarez 氏からの訴訟

##### (1) 訴訟の内容および経過について

2002年12月6日頃に、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市において、防弾ベストを着用中の警察官(氏名: Victor Alvarez)が銃撃され、負傷する事件が発生しました。

負傷した時、その警察官は、米国の防弾ベストメーカーであるセカンドチャンス社が製造販売した防弾ベスト(当社製品の一つである「ザイロン®」繊維を使用)を着用していました。

その警察官が、当該防弾ベストおよび「ザイロン®」繊維には欠陥があるとして、セカンドチャンス社ならびに当社および東洋紡アメリカ株式会社に対し、損害賠償を請求していたものです。

当社は、裁判において当社に非がないことを主張する一方、原告との間で和解の道を探ってまいりましたが、このたび、当社および原告ならびにすべての被告との間で裁判上の和解が成立いたしました。

##### (2) 和解の内容について

当社は、和解金として31万ドルを原告に支払います。

## 2 . Gregory Campbell 氏からの訴訟

### (1) 訴訟の内容および経過について

2003年11月15日に、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市において、防弾ベストを着用中の警察官（氏名：Gregory Campbell）が銃撃され、負傷する事件が発生しました。

負傷した時、その警察官は、米国の防弾ベストメーカーであるセカンドチャンス社が製造販売した防弾ベスト（当社製品のひとつである「ザイロン®」繊維を使用）を着用していました。

その警察官が、当該防弾ベストおよび「ザイロン®」繊維には欠陥があるとして、セカンドチャンス社ならびに当社および東洋紡アメリカ株式会社ほか1社に対し、損害賠償を請求していたものです。

当社は、裁判において当社に非がないことを主張する一方、原告との間で和解の道を探ってまいりましたが、このたび、当社および原告ならびにすべての被告との間で裁判上の和解が成立いたしました。

### (2) 和解の内容について

当社は、和解金として70万ドルを原告に支払います。

## 3 . 業績への影響

今期の業績への影響は軽微であり、業績予想の変更はございません。

## 4 . その他の訴訟

現在、上述の防弾ベストに関連し、米国政府との訴訟、ドイツ州政府との訴訟、セカンドチャンス社との訴訟など、米国において当社を被告とする複数の訴訟が提起されています。

以 上